

入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会の概要（2月2日(土) 入間市博物館）

1. 開催日時・会場

〈宮寺・二本木地区〉

日 時 平成 31 年 2 月 2 日（土） 午後 6 時 00 分から午後 8 時 45 分

場 所 博物館 一階 講座室

2. 内容

①開会あいさつ（田中市長）

②公共施設マネジメント事業計画（原案）についての説明（公共施設マネジメント推進課）

③質疑応答

④閉会

3. 参加者数

参加者 120 名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

公共施設マネジメント市民説明会 質疑応答一覧

No.	発言要旨	応答
1	・計画案では、小学校は地区の中央に新設とある。この案について、住民の声を聞くと、通学路が国道16号を横断するため怖いと言っている。地区内の小学校を一つにするということは、狭山台地区、狭山丘陵側の宮寺地区のいずれかの児童が、国道16号を横断することになるので、不安である。通学距離は4km圏内にあるとのことだが、4kmでは遠くて通えない。地区の中央というのは、具体的にどこ土地を想定しているのか。また、3月の議会でこの計画を確定することとのことだが、既に具体的な案が決まっているのではないか。 ・宮寺小学校の跡地にはスーパーマーケットを建設するとの噂を聞いたが、その後どうなったのか。 ・二本木公民館は、現在の場所に建設するために地区住民が運動をした経緯もあり、今後も現状のまま使い続けたいという声を聞いた。統廃合後についても、利用は担保されているのか。 ・市が積算した概算事業費は、どの程度正確なものなのか。	(公ヲ課) 小学校については、一昨年度から地域で説明をしてきた。その中で狭山小学校の活用を一つの案として示した。この案に対し、地域の方からは、統廃合するのであれば、両地区の中央に配置してほしいという意見があった。また、この案では、国道16号を横断する児童が増えることが指摘された。通学の安全性は、学校の配置が決定してから別途検討する課題と認識している。地区の中央に新設する小学校については、現在、場所を探しているところである。配置場所については、最終的に地域の方から意見を聞いて決定したい。スケジュールとしては、今後5年間で土地の選定を行い、整備につなげたい。 (公ヲ課) 宮寺小学校の跡地については、昨年、地域住民向けの説明会の中で、活用案の一つに、地区の事情を考慮してスーパーマーケットを誘致することも視野に入れて考えるべきではないかという応答をさせていただいた。一方、計画案における保育所の第2案では、宮寺小学校跡地について、宮寺保育所の建設用地とすることを示した。現在、宮寺小学校と宮寺保育所は隣接している。小学校が地区の中央または狭山小学校に移転した際、その跡地に保育所を移転させることも検討している。この場合、現在の小学校、保育所の跡地を一体的に見て、活用していきたい。 (公ヲ課) 二本木公民館については、地区センターへの移行は第1期に行われるが、地区センター同士の統合は第3期の計画である。統合の際は、宮寺地区センターに統合となるが、建物は維持する計画であるため、今後の活用方法を再度検討し、現時点では、地域の方に何らかの活用をしていただく考えである。 (公ヲ課) 事業費については、スライド50で示している通り、国の基準単価に基づき施設ごとに面積を乗じて積算している。この単価は、一般的な数値であり、詳細な事業費については、各施設の整備計画を作成する際に、改めて積算を

		することになる。
2	- 二本木地区には公園がないため、二本木保育所が統廃合された際は、跡地に市営の公園をつくってもらえないか。大人も子どもも利用できる健康器具的な遊具施設があると良い。 - 計画書の 89 ページに「二本木公民館は地区センター化を図ることで地域における子育て支援の地域の拠点となる施設として活用していく」と記載されている。二本木公民館と保育所は、現在、距離が近いので、相互で交流が図れている。今後、二本木公民館の活用策として、保育にも活用できるように検討してほしい。	(総務部) 二本木保育所は、現在借地になっており、公共施設マネジメントの方針を踏まえると、借地は減らしていきたい考えである。ただし、地域の施設の活用方法は地域の方と協議しなければならないと考えている。二本木公民館は既に子育て機能が若干入っている。新しい施設ということもあり、なるべく多くの方に使っていただきたい。また、様々な経緯により二本木地区にできた施設であり、20 年以上先の話であるが、活用についても地域の方と協議していきたい。
3	計画案において、小学校は、第一期に新たな場所への移転新設または狭山小学校の活用となっているが、新たな場所への移転を断念する場合、その決断をいつするのか。	(公マ課) 場所の選定、手続き含めて検討する準備期間として、今後 5 年程度としていきたい。
4	- 住民が毎日使うような施設、例えば小学校や公民館は統廃合してはならない。なるべく近くに設置して、皆が使いやすくすべきである。この計画は、すぐに決めるのではなく、もう少し時間をかけて 10 年後に決めるということで良いのではないか。勤労福祉センターは廃止、機能は他の公共施設に移転と示されているが、具体的な移転先が分からない。応答に時間がかかるのであれば、後で書面にして教えてほしい。 - 学校については、小学校は 6 歳の児童が歩いて通う施設であり、通学時間がどのくらいかかるのかを考えなくてはならない。具体的に、何人の児童が何時間かけて通うのか提示しなくては分からないし、一人でも遠距離通学になる児童がいれば対策を考えなくてはならない。 - 小学校の学級数について、宮寺小学校は 1 学級で 40 名というケースもある。数だけでこれが理想だと決めるのは現実を見ていないやり方だと思う。理想は 2 学級から 3 学級ということだが、1 学級あたりの児童数を見直せば、実際には 3 学級から 5 学級になる。統廃合する理由が理想から比較しても間違っている。統廃合後の人数や用地取得についても検討されていないのに、統廃合を決定するのは間違いである。	(公マ課) 計画案では、勤労福祉センターは、廃止する計画である。施設は団体の事務室、貸会議室として一定の利用があることは承知している。現在の機能の移転先については、今後考えていきたい。また、健康診断の会場に利用されている状況も承知しているため、代替施設は今後考えていきたい。 (学校教育課) 1 学級あたりの児童数については、国や県の基準がある。小学生の場合、1 年生は国の基準で 1 学級 35 人まで、2 年生は国の基準で 1 学級 40 人のところ、埼玉県補助により 35 人までとなっており、36 人以上の児童がいる場合は 18 人ずつの 2 クラスとなる。宮寺小学校における来年度の 6 年生については、1 月 20 日時点での調査において、特別支援学級除き 45 人となる見込みであることから、22 人と 23 人で 2 クラスとなる。教員の配置については、児童数ではなく、学級数に応じて配置が決まる。来年度の宮寺小学校については、通常学級が 7 クラスの予定で、1 年生から 5 年生が各 1 クラス、6 年生が 2 クラスとなり、特別支援学級が現在の 1 クラスから 2 クラスになる可能性がある。従って、全体で 9 クラスとなる。小

	・建設した際にかかる費用を事業費と称しているのは間違いである。統廃合により費用がいくらかかるのか具体的に示してほしい。	学校で9クラスの場合、校長・教頭含めて12人の教員が配置される。学級数が少ないと教員も少人数となる。通学可能距離については、国の基準により小学生で4km、中学生で6kmとしているが、これは一つの目安である。研究でもそれを超えるとストレスがたまるという結果もある。入間市としては、道の形状、交通事情、在住地域の状況を加味する必要があり、学校の配置が決まった際には、通学路の整備に加え、距離に応じてスクールバスの検討を行うことも考えている。 (公マネ課) 事業費について比較をしているのかという質問については、総務省の基準に沿って考えている。宮寺小学校、狭山小学校を統合して地区の中央に建設する案には、新たな用地購入費と校舎の建設費用で約18億円を見込んでいる。一方、統廃合をせず、老朽化した校舎の建替えを行った際、用地購入費が不要であったとしても、それぞれの学校で約16～17億円かかるため、長期的には負担が大きい。学校については、今後、改修工事に合わせてトイレの洋式化、ユニバーサルデザインの導入などを図るとともに、外国人の児童に対しても配慮する必要がある、今後は、こうした部分に費用を充てて、機能の充実を図りたい。
5	・勤労福祉センターについて、検討中であるなら廃止を決定するべきではない。 ・教員数は学級数で決まるということはあると思うが、それだけで統廃合が適切かを決まるべきではない。全体的に大規模校になればなるほど、1クラスの人数が増えるということがあるので、教員一人に対する児童・生徒数が増える。 ・学校の建設費が具体的にいくらかかるか教えていただくと分かりやすい。通学路については、国道16号を横断する。道路を横断させないということも含めて、具体的に児童・生徒の安全性や負担がどのように変わるのかを資料で示してほしい。 (意見のみ)	
6	・計画案について、2月28日までパブリックコメントを受け付けしているということであるが、内容の幅はどこまでとされ、意見に対する市民へのフィードバックは具体的にどのようにされるのか。	(公マネ課) 計画案に係るパブリックコメントは、公共施設マネジメント事業計画に沿った意見であれば受け付ける。ご提案については、1つを変えれば、それに伴って関連箇所を変えなくてはならない。

	ご意見を採用する場合、実現の可否に関わってくるものなので、実現性が伴うものをお願いしたい。パブリックコメントのご意見と対応策は一覧にして市の公式ホームページで公表することを考えている。 ・ 公共施設マネジメントを行い、年間予算が減った部分で何か他にきるのではないか。人口が減る中で、人口を増やす計画はどのようなものか。	(政策推進室) スライド 49 にある、「47 億円」という数値は、現在の施設数をこのまま維持管理した場合の費用である。一方、この事業計画に従い施設の再整備・再配置を進めていった場合の維持管理費用は、19.7 億円と試算した。市として努力はしているが、人口構成が変わると税収が落ちこむことや、扶助費(社会保障費)が増えていくことが見込まれる。従って、公共施設マネジメントで抑制した費用は、扶助費等にあてる必要がある。ただし、抑制ばかりしていたら魅力あるものは生めない。入間市の学校は、トイレが洋式化されていないため、こうした事業にも充てていく必要がある。この場合、全てを洋式便座に変えるのではなく、縦の 1 系統を改修する方法などを考えており、少ない費用でも効果が上がるようにしたい。また、雨漏り等についても、なおしきれていない所を修繕したい。いずれにしても、かける費用が減った分、残った所に集中的に投資し、入間市を選んでもらえるようにしたい。
7	・ この説明会については、子どもが学校から手紙をもらってきたため知った。統廃合について、若い人の中には知らない人もいると思う。市は、若い家族を集めて説明をする機会を考えてほしい。 ・ 統廃合すると自宅から狭山小学校へ 1~2 時間かけて通うことになる。子どもが 1 時間かけて通学するような土地では移住者が少なくなるのではないか。	(公マ課) これまでの説明会でも子育て世帯の参加が少ないことについて反省もあり、昨年 7 月には小学校、中学校、保育所を通じて、説明会のチラシを配布した。今後も子育て世帯に統廃合に対する意見をいただけるよう努力していきたい。昨年夏には、小学 6 年生、中学 3 年生を対象にしたアンケートを実施している。アンケートは、意見を聞くことに加え、この取り組みを理解し、一緒に考えてもらいたいと考え実施した。今後も説明会の機会をつくっていきたい。 (総務部) 小学生の通学距離を考慮し、地区の中心なら負担が少ないと考えた。しかし、この地区の中央には東西に国道 16 号が通っているため、統廃合した際は学校が国道の北側か南側のいずれかになってしまうことが課題である。移転新設の背景としては、鉄筋コンクリート

		造の建物の寿命はおよそ 60 年と言われており、宮寺小学校は建設から 52 年が経過し、狭山小学校も建設から 47 年経過した建物がある。従って、長期間、現状のままにしておくことはできないと考えている。解決策としては、通学路の危険の排除、スクールバスの運行を検討し、地区の中心に建替える方法を考えた。一方、様々な課題を解決できなければ、狭山小学校に統合することを選択することになる。そのときには、通学路の安全確保、児童の負担を解消していかなければならない。こうした内容は、計画が決定しないと検討することができない。計画が決まった内容で通学路の安全性や負担について最大限配慮していく。
8	・統廃合について住民投票は考えていないのか。	(公マネ課) 新たな小学校の建設用地の検討に 5 年間かけると説明したが、この取組を進める上では、地域の検討委員会(協議会)をつくり、地域の代表の方に意見を聞くことを考えている。住民投票という形は考えていないが、地域の声はそのような形で反映していく。
9	・スライド 49 にて概算事業費について 47 億と 19.7 億円の比較は誰が見ても進めた方がいいと思う。ただし、この事業費には市役所等整備計画の費用は入っているのか。また、事業費の財源の内訳があるが、借入金はいくら借りて、全体の何割を占めるのか。それは、何年かけて償還するのか。	(公マネ課) 市役所等整備計画の事業費は含まれている。 (市長) 公共施設マネジメントは、安心・安全のためにやっていく決意である。今やらないと将来世代に負担をかけてしまうので、将来を見据えた取り組みである。今年、全国で人口が増えたのは 47 都道府県中 8 都県だけである。ただし、どこも他から来て定住しているだけで、子どもが増えているわけではない。子どもを増やす政策を前向きにやらなくてはいけない。 (政策推進室) 公共施設マネジメントを進めるにあたり、市の借金である市債の額は 30 億円程度を一つの目安としている。今後も、財政健全化に向けて、現在の市債残高 300 億円から、減らす考え方である。市の一人当たりの地方債残高は県下で少ない方から数えて 8 位というランクである。地方債の活用は、計画を進める中で現時点で支払うという考えではなく、将来世代への負担を求め、長期間に渡り支出の平準化を図っていくものである。
10	・30 億円というのは、当初(一時期)に借りるということか。	(政策推進室) 当初借り入れるものではなく、今後の借入金の一つの目安として、この額を超えないようにするために示

		した額である。
11	この公共施設マネジメント事業計画による借入金全部でいくらか。30 億円が目途ではないのか。本日答えられないのであれば市報に載せてほしい。	(政策推進室) 先ほどの説明は市の全体の借入金の額である。 (公マ課) 公共施設マネジメント事業計画の 102 ページに財源の内訳として地方債についても何年にいくら返すのか記載してある。先ほどの説明である 30 億円は年間 30 億円が市全体の借入金の限度額としている。これには、公共施設やインフラ整備にかかるものも含まれている。借入金の部分だけを市報に載せる予定はないが、計画自体は市公式ホームページや各施設で閲覧できる。施設ではコピーもできると思う。
12	- 当初、小学校に図書館を併設するという予定だったがその計画がなくなった。宮寺地区の図書館は支所の 2 階にある。図書館本館や藤沢公民館、金子公民館には新聞、雑誌が置いてある。地区センター化した際、現在の藤沢公民館のように雑誌や新聞を置いてほしい。 - 老人憩いの家については、自治会等へ譲渡予定ということであったが、その後どうなったのか。譲渡であれば有償か無償なのか。 - 宮寺小学校については、現在の敷地はなくなるということか。また、保育所については、新しい土地に建てるのが第一候補となっており、統合後は宮寺小学校と宮寺保育所は空き地になると思う。空き地になったときは、何か活用するのか。最初の 10 年で 2 つ小学校と保育所をつくるとは考えられない。本当はもっと詳細に考えているのではないか。	(公マ課) 図書館については、意見として承る。 (公マ課) 老人憩いの家は、市内に 49 施設あるが、最終的に活用されなくなった場合、譲渡も考える。各施設について、それぞれ利用状況を見ながら、今後の活用策を考えていく。老人クラブの利用が減り、主に自治会が使うようになった場合は、自治会に無償で使ってもらおうことを考えている。 (公マ課) 宮寺小学校と宮寺保育所について、第一案として移転新設を考えており、実現した場合は、いずれの土地も空く。宮寺小学校は借地のため、その解消を考えていく。学校及び保育所の移転新設が決まった場合は、地域の意見を聞きながら調整していきたい。最初の 10 年で 2 施設を移転新設することについて優先的に考え、用地確保を 5 年間かけていく考えである。
13	金子第一保育所と金子第二保育所は金子小学校に統合するとあるが、宮寺小学校ではそういう考え方はないのか。	(公マ課) 計画案の中では、保育所は施設の中に収めることは考えていない。
14	無謀な投資をして破綻する自治体がある中、先を見通していることについては安心している。市役所と市民会館は震度 6 で壊れるというのが大丈夫なのか。空いたスペースの活用で、太陽光パネル等を設置してエネルギーを生産できるような体	(公マ課) 当初の案として、小学校に図書館の分館、地域の交流スペースや学童施設の複合化を考えていた。地域の方と小学生の交流は現在でもあるが、より進むのではないかと考えた。また、各地区で図書館の充実が図れるのではないかと

	制がとれないか。小学生が列をつくって地域の中を通学している光景は、一つの地域を構成している中で代表的な風景なのではないかと思う。それがなくなると、地域一丸になって子ども達を守るという気持ちがなくなってしまうのではないかと思う。小学校は地域コミュニティーの中心地であり、子どもが6歳でも通える距離にあるというのが地域活性化という意味で大切だと考えている。小学校を複合施設にすることについての安全性の確保という面で、教えてほしい。	いう両面の考え方があった。素案を説明していく中で、不特定多数の者が小学校に入る不安を払拭するのが難しかったため、複合化を断念することになった。
--	--	--